

令和元年度 岐阜県立土岐紅陵高等学校
学校運営協議会（第3回）議事要旨

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和2年1月30日（木）13:20～15:20
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校会議室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 委員 | 飯田 明子 | 東濃西部こども園長 |
| | 加藤 智代子 | 下石女性の会会長 |
| | 加藤 千洋 | 土岐市社会福祉協議会 |
| | 土本 泰 | 至学館大学入試広報担当 |
| | 山路 峰弘 | 土岐市まちづくり推進課長 |
| 学校側 | 中川 敬三 | 校長 |
| | 日比野 隆行 | 教頭 |
| | 加藤 健二 | 教務主任 |
| | 河村 拓士 | 生徒指導主事 |
| | 高田 昌史 | 進路指導主事 |

5 会議の概要（協議事項）

(1) 職場体験学習発表会（1年次生）の参観

(2) 開会

- ① 会長挨拶
- ② 校長挨拶

(3) 議事

① 「基調アンケート」の結果について

ア 教頭からの資料の説明

- ・実施の目的、実施対象、実施方法について ⇒ 昨年度と同じ
- ・本校のイメージについて

昨年度の結果と似た傾向がある。

⇒ 本校生徒や保護者からは肯定的な回答が多いが、外部の評価者からは「わからない」という回答が多いため、地元の人からの理解を得るために、様々な交流の機会を増やす必要がある。

- ・本校に期待することについて

アンケートの対象者によって、本校に期待することの内容が違う。

⇒ 在校生は総合学科の特色や本校が大切にしていることに期待しており、保護者は資格取得や人間性を高める指導に期待している。また、地元の中学生や中学校教員は勉強の苦手な生徒に対する丁寧な指導に期待しており、地元企業関係者はコミュニケーション能力や社会性を高める指導に期待している。

イ 委員の意見

- ・中学生の進路指導を担う地元の中学校教員に本校のことをきちんと理解してもらうことが何より大切である。
- ・本校の魅力をアピールする場をもっと増やす必要がある。

② 「自己評価及び学校関係者評価」について

ア 教務主任からの説明

- ・地域との連携がますますできている。
- ・ホームページの更新に改善が求められている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて改善の余地はあるが、様々な取組が行われている。
- ・来年度はICT機器を積極的に活用した授業を推進したい。

イ 生徒指導主事からの説明

- ・部活動に関する評価が下がった。
- ・今年度から部活動の全員加入を見直した。
- ・人権に関する全校統一LHRは生徒同士が話し合うよい契機となった。
- ・教育相談体制の充実に向けて、スクールカウンセラーの相談時間数の増加を希望する。

ウ 進路指導主事からの説明

- ・3年生の進路状況は順調でほとんどの生徒の進路が決まっている。
- ・今年度からキャリア教育と進路指導の担当分掌を分けた。
- ・活性化推進部や学年会と連携を図りながら進路指導を進めていきたい。
- ・キャリアプランナーが常駐するようになり、充実した進路相談体制ができた。

③ 来年度の「学校経営計画」と「学校運営の基本方針」について

ア 「学校運営の基本方針」について校長からの説明

- ・「校訓」……変更なし
- ・「教育目標」……「・・・人間を育成する」という表現で統一
- ・「学校運営の基本方針」……学校運営の重点の中の基本姿勢をここに含めて再整理した

イ 「学校運営の重点」について各担当より変更点の説明

- ・「学習指導」について教務主任より説明
- ・「生徒指導」について生徒指導主事より説明
- ・「進路指導」について進路指導主事より説明

ウ 各系列の目標……変更なし

エ 「学校経営計画」について、各担当より変更点の説明

オ 今回の学校運営協議会で来年度の「学校運営の基本方針」について審議し、承認を得たうえで来年度の年度当初からその方針に基づいて学校運営にあたることを確認した。

カ 委員の意見

- ・よい基本方針ができたので、常にこの方針を振り返りながら学校を運営してもらいたい。

④ その他の学校運営等に関する質問・意見等

- ・学校を地域に理解してもらうために、どのような取り組みを考えているか？
⇒ 60周年記念で学校紹介DVDを作製し、地域に配布する。
職場体験学習は地域の理解を得ることもつながっている。
- ・生徒もストレスを感じる人が多いと思うが、ストレスチェックは行っているか？
⇒ テストバッテリー検査を実施している。

6 会議のまとめ

校長より

今日の会議では「わからない（知られていない、理解されてない）」がキーワードになった。来年度はその「わからないを減らす」という観点で取り組みを進めていくとよいということに気付かせていただいた。来年度も引き続き各機関の方に委員をお願いしたいと思っています。一年間ありがとうございました。

会長より

一年間委員の方々には忌憚のないご意見をたくさんいただきありがとうございました。学校の方もその意見に対応していただけたと思いますので、来年度の学校運営に期待していきたいと思います。委員の皆さん、一年間ご苦労様でした。